

御 挨拶

山口県スキー連盟

会長 中村 克巳

残暑が長く続いた9月でしたが、彼岸花はいつも通りに季節を伝えてくれました。皆様もお変わりなくお過ごしのことと存じます。

昨年度は、ある程度の雪に恵まれ、まずまずのシーズンだったことと思います。また、全日本スキー指導者研修会では、酒井 拓也元ナショナルデモンストレーターをお迎えして指導していただきました。素晴らしいスキーを見せていただき、指導者の皆様にも、さらなる技術向上の良い刺激になったことと存じます。今年度もまたお呼びし、指導していただくこととなっておりますので、期待して参加していただき、再度、酒井 拓也元ナショナルデモンストレーターのきれいなスキーを見て、皆様が刺激を受け、スキーがさらに向上する事を目指して、今シーズンも楽しんでいただけると良いと思います。

昨年も書きましたが、山口県スキー連盟の課題は、次の4つと考えており、改善策を考えなければなりません。

1. ジュニアスキーヤーの発掘
2. 全年齢層のスキーヤーの増加策
3. 競技役員の減少と高齢化に対する対応
4. 連盟の財政面の改善策

特に、ジュニアスキーヤーの発掘についてですが、中学校の部活動が段階的に地域へ移行されることになっています。これに乗って、スキー競技を中学生に指導できる環境を連盟が構築し、ジュニアがスキーに参加してもらうことも解決策の1つになると思っています。

2. 3. 4. についても、会員の皆様には、頭にとどめていただき、アイデア、知恵を出していただければ幸いです。

簡単ですが、天候に恵まれ、良いシーズンが送れるように祈念し、また各行事にご支援いただいている関係各位に対し、感謝の意を表し、ご挨拶といたします。